

少しずつ寒さが増し、冬の訪れを感じる季節となりましたが、そんな中でも子どもたちは、「鬼ごっこしよう!」「どんぐりどこかな?」と戸外での遊びを思いきり楽しんでいます。

保育センターではクリスマスを待ち望む期間であるアドベントに入りました。クリスマスの話を聞き、飾りが増えていき、保育者や友だちと一緒に喜びを感じながら過ごしています。

いつもみんなのことを大切に思ってくださいる大好きなお家の方にプレゼントを作ろうという話もしました。今年は紙コップにフェルトを貼り、クリスマスツリーを作ることになりました。何色で作ったら喜ぶかな、飾りはどんな感じにしようかなとお家の方を思い浮かべながら心を込めて作りたと思います。

今年うさぎ組もぞう組、ひつじ組と一緒に聖歌隊として初めてページェント（降誕劇）に参加します。そのことを伝え、ページェントで歌うさんびかを歌うと「これ知ってる!」と一緒に歌ったり、知らないさんびかは真剣に聴いたりしていました。神さまが私たちのために救い主イエスさまをくださったこと、聖歌隊という素敵な役割を与えてくださったことに感謝し、喜びを持って取り組めるようにしたいと思います。



公園に遊びに行った時のこと...

Aちゃん「どんぐりこんなに
見つけたー!」
Bちゃん「いいなあ〜」
Cちゃん「神さまがどうぞって
してくれたんちゃう?」
Aちゃん「ありがとうって
言わないと!
ありがとう〜!」

日々の礼拝の中で神さまに感謝する心が育まれていることに子どもたちの成長を感じ、嬉しくなりました。

友だちと一緒に遊ぶことが嬉しくて楽しくて仕方がない様子のひつじ組です。勝敗のある遊びの楽しさも感じられるようになり、友だちと力を合わせて一緒に勝つ喜びや勝ったという嬉しさを共感し合っています。また、負けた時の何とも言えない悔しさを味わう中でも「次こそは・・・!」という気持ちで立ち直り、次への意欲につなげていく姿も見られます。今はどろけいのルールに似た『カギ鬼』をよく楽しんでいます。友だちと同じルールで遊ぶ中で楽しさや悔しさを感じたり、次は頑張ろうと思ったり、また、お友だちとのやりとりを通して、相手の気持ちにも気づき寄り添える心を大切にしたいと思います。

今月は嬉しいクリスマスを迎えます。この喜びをお家の人にも伝えようと内緒でこっそりプレゼント作りをしています。「お母さんはお花が好きだからお花をあげようかな」「お父さんにゴルフできるやつあげる!」「お家にクリスマスツリーを飾ろうかな」と一人ひとりお家の方が喜ぶ顔を思い浮かべながら、どんなプレゼントにしようかということから考えて、心を込めて作っています。自分で考えたプレゼントを形にしていく楽しさも感じているようです。プレゼント作りや、部屋を飾ったり一緒にクリスマスのさんびかを歌ったりしながら、イエスさまのお誕生を喜びいっぱい迎えたいと思います。

森へ散歩に行こうと
大学構内を歩いていた時のこと。
そのとき突然、突風が吹きました。
目の前でパラパラと落ち葉が
舞う様子を見て...

「うわぁー葉っぱの雨だー!!」

秋から冬になる瞬間を
見るようでした。



11月からページェントに向けて話し合い、イエスさま降誕の意味や羊飼い、博士の話などを知っていった子どもたち。神さまからこの嬉しい出来事をたくさんの人たちに伝えるという役割を、ぞう組のみんなに与えられていることを話すと「みんなに力があるってこと?」「ドキドキするけど頑張ろう!」と緊張感を持ちつつも、やってみよう前向きな心構えを見せてくれました。また「天使がやりたい!」「今日は宿屋さんにしようかな!」「どの役も大事なんだよね?」と1つひとつの役の大切さを感じながら色々な役を楽しんでいます。11月最後の週にはみんなが心待ちにしていたアドベントに入り、1本目のろうそくに火が灯ると「うわぁ〜!」と笑顔が広がっていました。これから2週目、3週目と増えていくろうそくの火をみんなで見守りながら、力を合わせてページェントに取り組み、クリスマスのその時を楽しみに待ちたいと思います。

ある日のおやつのお出来事。
ウイナーのスコーンを見た
Aちゃんが...

Aちゃん「...ドッグか...」と
ポツリ一言。
保育者「えっ!?なんて?」と
聞き返すと...

Aちゃん「アフリカドッグか」
ウイナーのスコーンが
アメリカドッグに
見えたようです(笑)

